

せせらぎ SeSeragi

漢方のよさ No.126号 ～漢方流派V～

発行日：2015年9月5日(土)

発行者：浮田 徹也

平成27年度日本東洋医学会関西支部例会会長として、10月25日(日)にグランフロント大阪を会場に開催させていただくことになりました。滋賀県主催の開催は、2008年以来ちょうど7年ぶりになります。今回の関西支部例会のテーマは、『東洋医学の実践』とし、漢方診療のコツと西洋医学的診断を習慣づけることを学ぶ機会にしたいと考えております。患者様が診察室に入って来られ、私たちと会話し、出て行かれるまでの間、「問診」「聞診」「視診」「切診」をしながら、師匠との会話、先人の症例、過去の自験例、同僚との会話等を思い出し、患者さまの生活や心の中の状態を想像し、「病の所在」を考え、漢方医学的な診断に随つて薬方や治療方針を決めます。このような「診療のコツ」を身につけることもEBMに基づき西洋医学的診断をすることも重要です。西洋医学的診断と東洋医学的治療、学と術を両輪とした診療が、我々医療従事者の目指す日本における「東洋医学の実践」だと思います。

今回の関西支部例会は、一般演題で活発な討論をしていただくことを基本に参加者に満足していただけるよう、特別講演、教育講演、ランチョンセミナー、鍼灸セミナー、脈・舌・腹診セミナーなども準備しました。

今回の関西支部例会が、多くの医療従事者にとって、「東洋医学の実践」を学ぶ実り多い学術例会になることを祈念しています。

今回の例会開催に当たり、多くの方々にお力添えいただきました。深く感謝いたします。

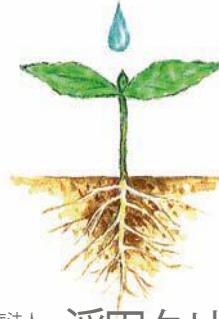
漢方流派のお話です。せせらぎ49号、57号、61号、73号、79号、87号、99号、114号も参照してください。

中国医学は中国古代(紀元200年頃、後漢から三国六朝)に著された「黄帝内經(こうていだいけい)」「傷寒論雜病論」「神農本草經」に基づく医学であるが、日本漢方は中国医学を「日本独特の風土」に適合させた日本人向きの医学である。

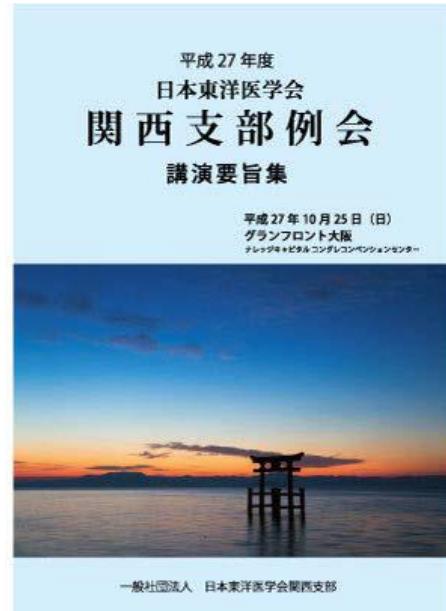
中国医学は5世紀頃、朝鮮を経由し、飛鳥・奈良時代には遣隋使や遣唐使の僧侶(僧医)によって導入されたが、貴族や上流社会の医学に過ぎなかった。鎌倉時代には、隨唐模倣医学でなく、日本人向きの実用医学となり、一般大衆にも処方され始めた。

室町時代には、宋医学思想を取り入れた仏教医学が盛んになり、僧医が活躍した。「喫(きつ)茶(さ)養(よう)生(じょう)記(き)」の栄西、「頓医抄(とんいしゅう)」「萬安方(まんあんぽう)」の淨(じょう)觀房性(かんぼうじょう)全(ぜん)が有名である。その他、産科、外科(金創医)、眼科など専門医師が現われ、明に留学した竹田昌慶(たけだしょけい)、坂(さか)淨(じょう)運(うん)、月(げつ)湖(こ)、田代三喜(たしろさんき)などは、金元医学を日本に伝えた。「黄帝内經」に基づいた金元医学の処方を応用した実証的医学の必要性を主張し、隨証治療を唱えたのは、田代三喜と彼の弟子曲直(まなせ)瀬道三(どうさん)である。この流派を道三流医学或は後世派と呼び、古方派や考証派、折衷派などの生まれる元になった。三喜の師、月湖は「類証弁異全九集」、三喜は「弁証配剤」、道三は「察証弁治啓迪集(けいてきしゅう)」をそれぞれ著わした。金元医学の李朱医学派には香月(かつき)牛山(ごさん)や加藤(かとう)謙(けん)斎(さい)、劉張医学派(劉(りゅう)河間(かかん)や張子和(ちょうしか)の流派)には饗庭(あいば)東庵(とうあん)や味岡(あじおか)三(さん)伯(ぱく)や林市之進らが有名で、後世別派と呼ばれる。

明の喻喜(ゆか)言(げん)の「傷寒尚論」の影響で、中国では、清の時代には李朱医学が批判され、「傷寒論の古医方に帰れ」という実証性の再認識の治療が盛んになり、日本にも大きな影響をもたらし、甲斐の永田徳本や京都の名古屋玄医が古方派を起した。「急性の熱性病」の経過と治療法を説いた傷寒論を「慢性病」にも使えるよう工夫した流派でもある。古方の四大家と称される「万病は一氣の留滯によって生ずる」と主張した後藤良山、「一本堂行余医言」「一本堂薬選」を著した香川修徳は、古方の泰斗といわれ、1754年人体解剖を行ない、その記録を1759年「藏志」に著し、漢蘭折衷派の門人永富独嘯(えいとみどくしゅう)庵(あん)を持つ山脇東洋や松原一閑斉らが活躍する。そして、吉益東洞が古方派を完成した。彼は初め金創医であったが古医方を学び、「万病一毒説」「方証相対説」「天命論」「類聚方」「薬徵」「方極」など多くの著した。



発行所：医療法人
せせらぎ会 浮田クリニック
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1
☎077-574-3751 ☎077-574-3792
HP: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail:kanpou@ukita.gr.jp



①「平成27年度関西支部例会 講演要旨集」
10月25日(日)にグランフロント大阪を会場に開催(会長 医療法人
せせらぎ会 浮田クリニック 浮田徹也)。東洋医学の診療では、四診、
師匠との会話、先人の症例、過去の自験例、同僚との会話等に基に、
患者さまの生活や心情を想像し、漢方医学的な診断に随つて治療
方針を決める。今回の関西支部例会では、「東洋医学の実践」を
テーマとし、「漢方診療のコツ」と西洋医学的診断を習慣づけるこ
とを学ぶ機会にしたい。

江戸時代中期には、古方と後世方を用い、文献学的考察を重視し、「千金要方」や「医心方」などの古典を復刻した「考證学派」(折衷派)が多紀元簡や多紀元堅を中心で江戸で起つた。

オランダ医学と、日本漢方の融合を試みようとする「漢蘭折衷派」も生まれた。山脇東洋の古医方、吉雄幸左衛門のオランダ医学に接した永富独嘯庵は、「漫遊雜記」で蘭医の乳がんの手術に言及し、華岡青洲に大きな影響を与えた。その華岡青洲は古方を吉益南涯、カスパル流外科を大和(やまと)見立(けんりゆう)に学び、創製麻醉剤通仙散で乳がん手術に成功した。江戸時代末期から明治時代の古方派代表は、吉益東洞の再来と自称した尾台(おだい)榕堂(ようどう)で、「類聚方広義」を、後世派代表は、味岡三伯の門下の浅井周伯と明治の漢方存続運動で最後まで戦った一人浅井国幹、折衷派代表浅田宗伯で、現在も浅田流医家は京都・大阪方面で診療に携わっている。当院の漢方は、浅田宗伯→木村博昭→中野康章→森田幸門→柴田良治→浮田徹也の流れを汲んでいます。

では、実例に移ります。

24歳女性、月経前緊張症、153cm、55kg、105/6211、月経前緊張症で生理前にはイライラしてしんどく、腹部膨満、眠気、気分の落ち込み(特に起床時憂鬱)、ほてり、肩こりが強いが、耳閉感やのどのつまり感や不眠はない。ピルを服用するのに抵抗があると言われた。顔色良好、腹部緊張中程度、胸脇苦満、心下痞硬、鳩尾穴圧痛、臍傍抵抗圧痛。舌は淡紅色、乾白苔、舌下静脈怒張。そこで、小柴胡湯、香蘇散、桂枝茯苓丸、サフランを処方。

2週間後、生理前の苦痛な期間もほとんどなく生理が始まった。

8週間後、生理前症状なくなり、耳閉感も消失したので、廃薬した。

33歳、156cm、37kg、不安になると動悸が激しい。生理前から生理中に月経前緊張症(動悸、不安感、眠い、吐き気、下痢、食欲不振、肌荒れ)が出現する。特に、入浴中に感じやすい1年前からこのような症状が始まり、内科、循環器など受診したが改善しなかった。子供が小学校2年生、6年前に離婚した。顔色はすぐれず青黒い、腹は軟弱で、胸脇苦満、左臍傍悸、臍下不仁、舌は淡暗紅色、無苔。脈は沈遅細。そこで、香蘇散、茯苓飲、サフランを処方。

2週間後、不安感と動悸が続く。胃腸症状は改善してきた。桂枝加竜骨牡蠣湯、サフランを処方。

6週間後、10週間後、14週間後、18週間後と症状軽減してきた。

29歳、156cm、45kg、足先と指先の冷え、月経不順(月経周期6~8週)、眠気、口内炎(最近10年常に)、胃痛(1ヶ月に1度)、腰痛、下痢と便秘を繰り返す。顔色は悪く冴えない、腹は軟弱、両側軽度脇胸苦満、臍傍悸、臍下不仁。そこで、五積散、附子を処方。

1ヶ月後、冷え改善してきた。2ヶ月後、下痢軽減、口内炎減少。6ヶ月後体調良くなる。1年後の現在も継服中。

[院長]

心臓神経症



特別のストレス下でないのに、突然、不安や恐怖に襲われ、動悸、息切れ、呼吸困難、めまい、身震い、発汗、吐き気、痺れ、前胸部痛、疲労を自覚する病気で、30~40歳の女性に多く見られます。心臓に器質的疾患(狭心症など)があるかどうか、心電図、胸部写真、血液・尿検査などで調べてみましょう。食事、睡眠時間、お風呂、運動、マッサージなども考えてください。心と体の治療が必要なので、東洋医学的な考え方や漢方薬も効果的です。

月経前緊張症



月経前3日~10日に、いろいろ、のぼせ、下腹部膨満感、下腹部痛、腰痛、憂鬱、落ち着かない、頭痛、乳房痛、はきけ、むくみ(顔、手足)、皮膚症状などをいつも感じていませんか。でも、月経が終わると症状が消えませんか。このような方の治療には漢方薬が適しています。体と心の不調を改善することができます。何か病気が隠されていないか血液や尿検査、超音波検査などを受けて安心することも大切です。

冷え性



手・足・背・腰など体の一部の冷え、冷えのぼせ(足は冷え、顔はのぼせる)、全身の冷えなどがあり、漢方医学では、瘀血(循環不全)、気虚(気力低下)、水毒(体液の偏在)、血虚(血液不足)、脾虚(胃腸虚弱)、陰証(新陳代謝の低下)、気逆(気の上昇)などが原因と考えています。当院では、血液検査なども参考にして、四診(問診、視診、触診、聞診)を基に、漢方薬を処方します。

巢元方(580~650)

文献的記録がなく、詳細は不明だが、「隋煬(よう)帝(だい)開河記」に、重病人を「風逆病」と診断し、数日で回復させたことが記されている。急性伝染病から各種内科疾患、外科、皮膚科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻科等々の病気とその原因を研究し、煬帝の勅命によって、病因証候学をまとめた最初の書物「諸病源候論」を著作した。この書物は、唐の王翻(おうとう)が「外台秘要」の中で「諸病源候論」を引用して世に出た。



当院の漢方治療

剤型

エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25~30分煮であります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆囊炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帶状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせて治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と診察）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰腔分泌物、心電図、骨量測定…）

妊娠健診と各種教室 携帯またはパソコン予約

当クリニックではWEB(携帯・PC)予約システムを導入しています。

日時指定のご予約が可能です。

妊娠健診と各種教室WEB予約受付

午前9:15~午後12:15 午後4:45~午後6:45



ご来院窓口受付時間

午前8:30~午後12:30 午後4:30~午後7:00

○受付時間以内であればWEB予約受付終了後でも来院窓口で対応させて頂きますが、予約の方が多い場合は待ち時間が長くなることがあります。

○予約の方は余裕を持ってご来院ください。

各種教室WEB予約受付

うきっこクラブ	第1 土曜日	午前10:00~12:00
ベビーマッサージ	第2 水曜日	午前10:00~11:30 午後1:00~2:30
マタニティーエクササイズ	第1、3火曜日	午後2:30~4:00
マタニティーフラダンス	第2、4金曜日	午後3:00~4:00 (第4金曜日は2回目以降の方)

○都合により各種教室の日時を変更する場合があります。

ママクラスのご案内

場所：当院4階 多目的ルーム

申込方法：申込ノートでご予約お願いします。



立会分娩ご希望の方は特に
ご参加をお薦めします。
(申込ノートにお名前の記入をお願いします。)

ママクラスでは院内冊子の
「HELLO BABY」にそって、
お話をすすめていきます。

ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽に
ご参加ください。
参加時には「HELLO BABY」「母子手帳」を
忘れずにお持ち下さい。

前・中期・ママクラス
13:30-15:30

9/3・19 10/3・17 11/7

後期・ママクラス
13:30-15:30

9/3・10・17・24
10/1・8・15・22・29 11/5

マタニティーエクササイズ

マタニティーエクササイズのインストラクターによる教室です。

4階のお部屋からの景色も
お楽しみください。

【第1、第3火曜日】

当院分娩の方：1000円
他院分娩の方：1500円

マタニティーエクササイズ

14:30-16:00

9/1 10/13 10/20

マタニティーフラダンス

ハワイの大自然をお腹の
赤ちゃんと一緒に感じて
楽しいマタニティライフを
過ごしましょう。

【初めての方：第2金曜日】

【2回目以降の方：第4金曜日】
参加費:500円

初めて参加する方

15:00-16:00

9/11 10/9

2回目以降の参加の方

15:00-16:00

9/25 10/23

うきっこクラブ

当院で生まれた1ヶ月～3ヶ月の赤ちゃんとママの集まりです。
育児やおっぱいについて
みんなで話し合いましょう。

うきっこクラブ

10:00-12:00

9/5 10/3

ベビーマッサージ

赤ちゃんとママのスキンシップです。
赤ちゃんが健やかに育つ・ママと赤ちゃんの愛情が深まる
などなどたくさんのいい事があります。
当院ではわらべうたベビーマッサージ
を行っております。

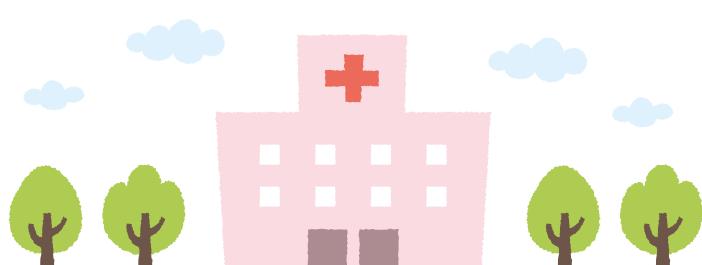
ベビーマッサージ

10:00-11:30 13:00-14:30

9/9

【第2水曜日】

参加費：500円



外来用診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療(午前9時～12時30分)							
産科	恵医師	恵医師	副院長	恵医師	副院長	副院長	—
婦人科	副院長	副院長	恵医師	恵医師	恵医師	恵医師	—
漢方科	院長	院長	院長	院長	院長	院長	—
産後母子健診(12時～午後1時)・予防接種・胎児スクリーニング(午後2時～4時) 乳児健診(午後3時～4時)							
予防接種	院長	—	院長	—	院長	—	—
胎児スクリーニング	副院長		副院長		恵医師		
乳児健診	院長	滋賀医大 小児科医	院長	—	院長	—	—
午後診療(午後4時30分～7時)							
産科	副院長	—	恵医師	—	恵医師	—	—
婦人科	院長		副院長		院長		
漢方科	院長		院長		院長		

院長：浮田徹也、副院長：浮田真吾、恵医師：浮田恵

■女性医師外来：

毎日対応します。土曜日は京大病院からの女性医師が担当する場合もあります。

■漢方専門医の漢方外来(月～土)：

内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科領域に対して、日本東洋医学会漢方専門医が診察及び治療します。
当院は、日本東洋医学会漢方専門医研修施設に指定されています。

■産後母子健診（月～金）：

12:00～予約制 当院退院5日目の赤ちゃんとママの状態の診察を全員行います。

■乳児健診：

毎週火曜日午後 午後3時～4時30分は、滋賀医大小児科医師による乳児健診を行います。(1、2、3ヶ月)(有料)、4ヶ月(公費)
毎週月水金曜日 午後3時～4時は、院長による乳児健診を行います。

■胎児スクリーニング外来：

妊娠20-24週の方。月曜日水曜日金曜日 午後2時～4時、1人20分前後。予約制。
当院で分娩の方3000円 他院分娩の方5000円

■予防接種ワクチン接種外来：

インフルエンザ、BCG、四種混合(DPT-IPV)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、子宮頸癌予防ワクチン、その他

■母乳外来(電話予約制)：

退院した後のママと赤ちゃんの母乳相談や育児相談をプロの助産師がサポートします。
授乳や赤ちゃんの体重の増え方、ミルクの飲み具合等について何でもご相談下さい。

母乳相談：月～土 当院で出産された方 3000円 他院で出産された方 4500円

■不妊外来(月～土)：

タイミング指導やホルモン治療や漢方薬治療や精子検査を実施。人工授精も行っております。1ヶ月1回(土曜日)兵庫医科大学の医師による不妊外来もあります。

■更年期外来(月～土)：

漢方薬やホルモン剤やプラセンタ等による総合的な診察を行います。

■日本抗加齢学会専門医のアンチエイジング外来(月～土)：

更年期障害、産後乳汁分泌不全の場合は、健康保険での保険診療。その他のアンチエイジングの場合は、自費診療となります。

プラセンタ注射、プラセンタ内服薬やドリンク剤等取り揃えております。

その他、各種プラセンタ化粧品もありますのでご相談下さい。日本抗加齢学会専門医が対応します。

■助産師外来(月水金 午前中)：

当院の妊婦健診のうち、妊娠35週～36週頃の妊婦健診を助産師外来とさせて頂きます。

皆さんお一人、お一人と触れ合いながら、おひとり45分程度の時間(予約制)をかけ、「自分らしい」妊娠・出産・育児を創りあげていけるよう、バースプランに沿った支援を心がけます。母乳育児にそなえておっぱいのお手入れの方法もお話しします。妊婦健診補助券を利用します。

(ただし、大津市以外の方は差額をお支払い頂く場合があります。)

アトピー軟膏 健康食品 (グルコサミン、コンドロイチン、のどアメ)

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・葉酸(鉄)・靈芝・サメ軟骨・快歩楽
- ・のどアメ(ハーブ イチゴ)

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレスなどへの治療に利用しています。

ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
- ・産科と婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)(癌検診、不妊症、更年期障害)
- ・漢方治療のページ(漢方治療)
- ・各検診と予防接種のページ(健診、プライマリチェック、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は早急に受付に連絡して下さい。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)
面接:随時、各種保険加入、賞与:年2回、交通費支給